

# 伊集院保健所感染症情報

2023年第14週（令和5年4月3日～令和5年4月9日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

## ● 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第11週	第12週	第13週	第14週	先週からの増減	第13週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	4.00	3.83	1.20	0.80	↓	1.13	↓
RSウイルス感染症	-	-	-	1.25	3.25	1.33	1.33	→	1.58	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	0.00	0.50	0.33	0.67	↗	0.23	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	1.25	0.50	0.67	0.33	↓	0.35	↓
感染性胃腸炎	20	12	-	6.75	4.50	2.00	0.33	↓	5.04	↓
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.33	0.00	↓	0.04	↗
手足口病	5	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.15	↗
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↓
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.33	0.33	→	0.27	↓
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.15	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			結核 1（3）							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

## ● TOPIC サル痘について

サル痘は、「サル痘ウイルス」に感染し、発熱、頭痛、リンパ節腫脹などの症状の後に発疹が出現する感染症で、感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液との接触（性的接触）により感染します。多くの場合、2-4週間持続し自然軽快しますが、小児例や暴露の程度等により重症化することがあります。天然痘ワクチンによって約85%発症予防効果があるとされています。

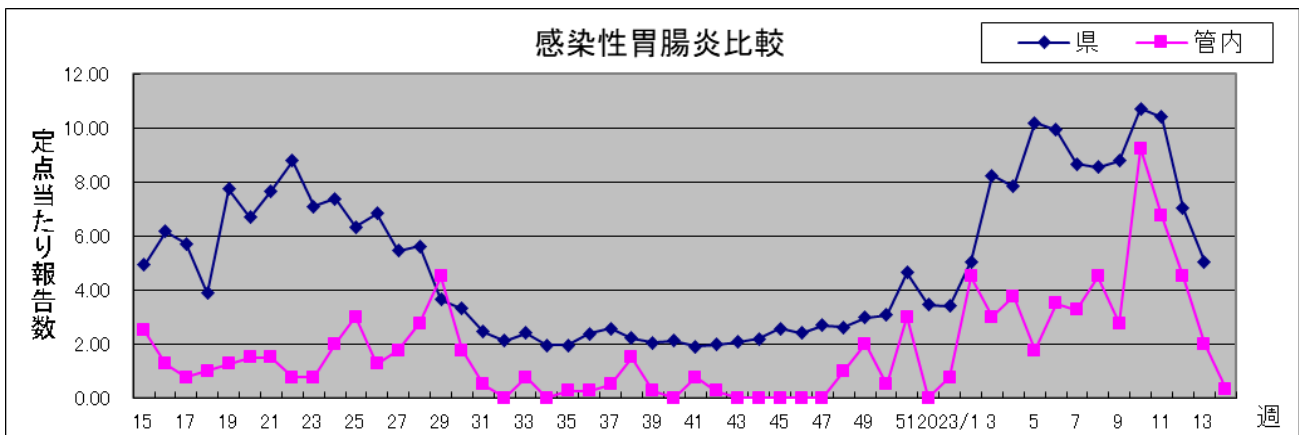
サル痘の感染を予防するには、症状のある人の飛沫・体液等との接触をさけること、サル痘を保有する可能性のあるげっ歯類等の哺乳類との接触を避けること、石けんと水またはアルコールベースの消毒剤を使用した手指衛生を行うことが大切です。

国内では、2023年以降患者の発生が増加しており、2023年4月4日時点で95例の患者等が報告されています。

国内では、感染症法上の4類感染症に指定されており、診断後直ちに最寄りの保健所への届出が必要。「疑い例」の症例定義に該当する方を診察した場合にも、最寄りの保健所へご相談ください。※「疑い例」の症例定義は、令和4年5月20日付け事務連絡 厚労省健康局結核感染症課「サル痘に関する情報提供及び協力依頼について」をご参照ください。

## ● 注意すべき感染

### ○ 感染性胃腸炎



今週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の6人（定点当たり 2.00）から5人少ない1人（0.33）に減少しました。年齢別では、1歳（1人）でした。感染のピークは越えましたが、引き続き感染対策をお願いします。

患者のふん便や吐物には大量のウイルスが排出されるので、

★排便後、患者の看病や介護後、調理・食事前、外出から帰宅した時などには、**液体石けんを泡立てて流水で手を洗いましょう。**

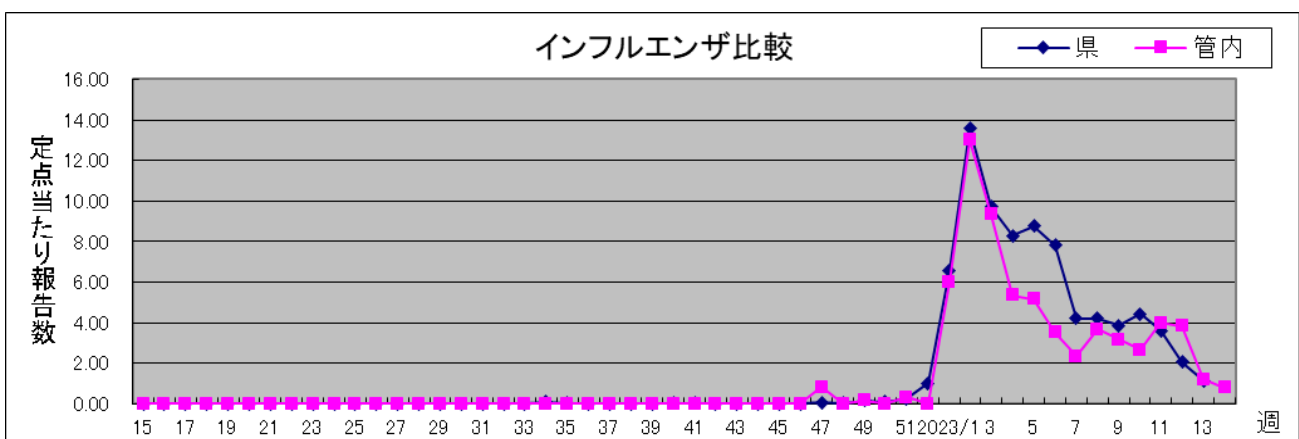
★吐物やふん便は、**次亜塩素酸ナトリウムを用いて適切に処理**しましょう。

★下痢や嘔吐等の**症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない**ようにしましょう。

★食品は**中心部までしっかり加熱**して食べましょう。

特に、学校、乳幼児及び高齢者施設など集団生活施設で発生した場合は、集団感染のおそれがあるので注意が必要です。

### ○ インフルエンザ



今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の6人（定点当たり 1.20）から2人少ない4人（定点当たり 0.80）に減少しました。年齢別では、15～19歳（2人）、7歳、9歳（各1人）の順に多くなっています。

感染のピークは越えましたが、引き続き感染対策をお願いします。